

「化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針」に関する公示（技術上の指針公示第 29 号）
の訂正について

令和 8 年 10 月 1 日

令和 8 年 8 月 31 日から HP に掲載していた「化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針」に関する公示（技術上の指針公示第 29 号）につきまして、以下のとおり誤りがありましたので、修正いたします（掲載している pdf ファイルは修正済みのものです。）。

修正箇所は、別添の別表第 3－1 から第 3－5 まで並びに（参考 1）及び（参考 2）の欠落を復元するほか、下表のとおりです。

正	誤
化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針 令和 5 年 4 月 27 日技術上の指針公示第 24 号 改正 令和 6 年 5 月 8 日技術上の指針公示第 26 号 改正 令和 7 年 9 月 19 日技術上の指針公示第 27 号 改正 令和 7 年 10 月 8 日技術上の指針公示第 28 号※ 1 改正 令和 8 年 8 月 31 日技術上の指針公示第 29 号※ 2 ※ 1 下線部については令和 8 年 10 月 1 日適用 ※ 2 二重下線部については令和 9 年 10 月 1 日適用	化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針 令和 5 年 4 月 27 日技術上の指針公示第 24 号 改正 令和 6 年 5 月 8 日技術上の指針公示第 26 号 改正 令和 7 年 9 月 19 日技術上の指針公示第 27 号 改正 令和 7 年 10 月 8 日技術上の指針公示第 28 号※ 1 改正 令和 8 年 8 月 31 日技術上の指針公示第 29 号※ 2 ※ 1 下線部については令和 8 年 10 月 1 日適用 ※ 2 二重下線部については令和 9 年 10 月 1 日適用

1（略）

2 リスクアセスメント及びその結果に基づく労働者のばく露の程度を濃度基準値以下とする措置等を含めたリスク低減措置

2－1 基本的考え方

(1)～(5)（略）

(6) 事業者は、リスクアセスメントと濃度基準値については、次に掲げる事項に留意すること。

ア（略）

イ 労働者のばく露の程度が濃度基準値以下であることを確認する方法は、事業者において決定されるものであり、確認測定の方法以外の方法でも差し支えないが、事業者は、労働基準監督機関等に対して、労働者のばく露の程度が濃度基準値以下であることを明らかにできる必要があること。また、確認測定を行う場合は、確認測定の精度を担保するため、作業環境測定士が関与することが望ましいこと。

ウ～オ（略）

2－2（略）

3～7（略）

別表1 物の種類別の試料採取方法及び分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
------	--------	------

1（略）

2 リスクアセスメント及びその結果に基づく労働者のばく露の程度を濃度基準値以下とする措置等を含めたリスク低減措置

2－1 基本的考え方

(1)～(5)（略）

(6) 事業者は、リスクアセスメントと濃度基準値については、次に掲げる事項に留意すること。

ア（略）

イ 労働者のばく露の程度が濃度基準値以下であることを確認する方法は、事業者において決定されるものであり、確認測定の方法以外の方法でも差し支えないが、事業者は、労働基準監督機関等に対して、労働者のばく露の程度が濃度基準値以下であることを明らかにできる必要があること。

ウ～オ（略）

2－2（略）

3～7（略）

別表1 物の種類別の試料採取方法及び分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
------	--------	------

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>2-アミノ-2-メチル-1- プロパノール</u>	<u>固体捕集方法</u> ※1	<u>高速液体クロ マトグラフ分 析方法</u>	2-アミノ-2-メチル-1- プロパノール	固体捕集方法 ※1	高速液体クロ マトグラフ分 析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>N-イソプロピル-N'-フェ ニル-パラ-フェニレンジアミ ン</u>	<u>ろ過捕集方法</u>	<u>高速液体クロ マトグラフ分 析方法</u>	N-イソプロピル-N'-フェ ニル-パラ-フェニレンジアミ ン	ろ過捕集方法	高速液体クロ マトグラフ分 析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
一酸化二窒素	直接捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4	一酸化二窒素	直接捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4
イプシロン-カプロラクタム※3	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法	イプシロン-カプロラクタム※3	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
エチル-パラ-ニトロフェニル チオノベンゼンホスホネイト (別名EPN) ※3	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法	エチル-パラ-ニトロフェニル チオノベンゼンホスホネイト (別名EPN) ※3	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 8-オクタクロロ-2, 3, 3 a, 4, 7, 7a-ヘキサヒド ロ-4, 7-メタノ-1H-イ	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 8-オクタクロロ-2, 3, 3 a, 4, 7, 7a-ヘキサヒド ロ-4, 7-メタノ-1H-イ	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4

ンデン（別名クロルデン）※3			ンデン（別名クロルデン）※3		
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
<u>オルト－セカンダリーブチル フェノール</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマト グラフ分析方 法</u>	オルト－セカンダリーブチル フェノール	固体捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法
<u>過酢酸</u>	<u>液体捕集方法</u> ※1	<u>ガスクロマト グラフ分析方 法</u>	過酢酸	液体捕集方法 ※1	ガスクロマト グラフ分析方 法
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
2－クロロ－4－エチルアミノ －6－イソプロピルアミノ－ 1，3，5－トリアジン（別名 アトラジン）	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4	2－クロロ－4－エチルアミノ －6－イソプロピルアミノ－ 1，3，5－トリアジン（別名 アトラジン）	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※4
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
<u>2－クロロ－1，3－ブタジエ ン</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマト グラフ分析方 法</u>	2－クロロ－1，3－ブタジエ ン	固体捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
<u>酢酸ブチル（酢酸－セカンダリ ーブチル及び酢酸ターシャリー ブチルに限る。）</u>	固体捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法	<u>酢酸ブチル（酢酸－セカンダ リーブチル及び酢酸ターシャリ ーブチルに限る。）</u>	固体捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法
<u>酢酸ベンジル</u>	<u>固体捕集方法</u> ※1	<u>ガスクロマト グラフ分析方 法</u>	酢酸ベンジル	固体捕集方法 ※1	ガスクロマト グラフ分析方 法

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	ジエチレングリコールモノブチルエーテル※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ジクロロベンゼン（パラージクロロベンゼン及びメタージクロロベンゼンに限る。）	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	ジクロロベンゼン（パラージクロロベンゼンに限る。）	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	ジクロロベンゼン（メタージクロロベンゼンに限る。）	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ジフェニルアミン※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	ジフェニルアミン※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
1, 1, 1-トリクロロ-2, 2-ビス（4-メトキシフェニル）エタン（別名メトキシクロル）	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴	1, 1, 1-トリクロロ-2, 2-ビス（4-メトキシフェニル）エタン（別名メトキシクロル）	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
トリニトロトルエン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴	トリニトロトルエン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
1-ナフチル-N-メチルカルバメート (別名カルバリル) ※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	1-ナフチル-N-メチルカルバメート (別名カルバリル) ※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ニトログリセリン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴	ニトログリセリン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※ ⁴
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ノルマルブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル※ ⁵	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	<u>ノルマルブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル※⁵</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマトグラフ分析方法</u>
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>パラメトキシフェノール</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマトグラフ分析方法</u>	パラメトキシフェノール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
フタル酸ジエチル※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	フタル酸ジエチル※ ³	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>弗化スルフリル</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>イオンクロマトグラフ分析方法</u>	<u>弗化スルフリル</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>イオンクロマトグラフ分析方法</u>

<u>弗素及びその水溶性無機化合物 (<u>弗化亜鉛</u>、<u>弗化カリウム</u>及び <u>六弗化けい酸亜鉛 (Ⅱ)</u>に限 る。)</u>	<u>ろ過捕集方法</u>	<u>イオンクロマ トグラフ分析 方法</u>	弗素及びその水溶性無機化合物 (<u>弗化亜鉛</u> 、 <u>弗化カリウム</u> 及び <u>六弗化けい酸亜鉛 (Ⅱ)</u> に限 る。)	<u>ろ過捕集方法</u>	<u>イオンクロマ トグラフ分析 方法</u>
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
ブロモトリフルオロメタン	固体捕集方法	ガスクロマト グラフ分析方 法	<u>ブロモトリフルオロメタン</u>	<u>固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマト グラフ分析方 法</u>
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
1, 2, 3, 4, 10, 10- ヘキサクロロ-6, 7-エポキ シ-1, 4, 4a, 5, 6, 7, 8, 8a-オクタヒドロー エンド-1, 4-エンド-5, 8-ジメタノナフタレン (別名 エンドリン)	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※ ⁴	1, 2, 3, 4, 10, 10- ヘキサクロロ-6, 7-エポキ シ-1, 4, 4a, 5, 6, 7, 8, 8a-オクタヒドロー エンド-1, 4-エンド-5, 8-ジメタノナフタレン (別名 エンドリン)	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	ガスクロマト グラフ分析方 法※ ⁴
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
N-メチルカルバミン酸2-イ ソプロピルオキシフェニル (別 名プロポキスル) ※ ³	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	高速液体クロ マトグラフ分 析方法	N-メチルカルバミン酸2-イ ソプロピルオキシフェニル (別 名プロポキスル) ※ ³	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	高速液体クロ マトグラフ分 析方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>S-メチル-N- (メチルカル バモイルオキシ) チオアセチミ デート (別名メソミル) ※³</u>	<u>ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法</u>	<u>高速液体クロ マトグラフ分 析方法</u>	S-メチル-N- (メチルカル バモイルオキシ) チオアセチミ デート (別名メソミル) ※ ³	ろ過捕集方法 及び固体捕集 方法	高速液体クロ マトグラフ分 析方法

(略)	(略)	(略)
沃素	固体捕集方法 ※1	イオンクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)
りん酸トリ－ノルマル－ブチル ※3	ろ過捕集方法及び固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)
六塩化ブタジエン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※4
(略)	(略)	(略)

備考

- ※1の付されている物質の試料採取方法については、捕集剤又は捕集液との化学反応により測定しようとする物質を採取する方法であること。
- (略)
- ※3が付されている物質については、蒸気と粒子の両方を捕集すべき物質であり、当該物質の試料採取方法におけるろ過捕集方法は粒子を捕集するための方法、固体捕集方法は蒸気を捕集するための方法に該当するものであること。
- ※4の付されている物質の分析方法に用いられる機器は、電子捕獲型検出器（ECD）又は質量分析器を有するガスクロマトグラフであること。

(略)	(略)	(略)
<u>沃素</u>	固体捕集方法 ※1	イオンクロマトグラフ分析方法
(略)	(略)	(略)
<u>りん酸トリ－ノルマル－ブチル</u> ※3	<u>ろ過捕集方法及び固体捕集方法</u>	<u>ガスクロマトグラフ分析方法</u>
(略)	(略)	(略)
六塩化ブタジエン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法※4
(略)	(略)	(略)

備考

- ※1の付されている物質の試料採取方法については、捕集剤又は捕集液との化学反応により測定しようとする物質を採取する方法であること。
- (略)
- ※3が付されている物質については、蒸気と粒子の両方を捕集すべき物質であり、当該物質の試料採取方法におけるろ過捕集方法は粒子を捕集するための方法、固体捕集方法は蒸気を捕集するための方法に該当するものであること。
- ※4の付されている物質の分析方法に用いられる機器は、電子捕獲型検出器（ECD）又は質量分析器を有するガスクロマトグラフであること。

5～7 (略)

別表2 物の種類別濃度基準値一覧（発がん性が明確であるため、長期的な健康影響が生じない安全な閾値としての濃度基準値を設定できない物質を含む。）

物の種類	八時間濃度基準値	短時間濃度基準値
(略)	(略)	(略)
酢酸ブチル（酢酸－セカンダリーブチル及び酢酸ターシャリーブチルに限る。）	20 ppm	150 ppm
(略)	(略)	(略)
トルイジン（パラートルイジン及びメタートルイジンに限る。）	4 mg/m ³	—
(略)	(略)	(略)
ノルマル－ブチル－2，3－エポキシプロピルエーテル※ ²	—	—
(略)	(略)	(略)
弗化スルフリル	1 ppm	—
(略)	(略)	(略)
プロモトリフルオロメタン	1,000 ppm	—
(略)	(略)	(略)
沃土	0.02 ppm	—

5～7 (略)

別表2 物の種類別濃度基準値一覧（発がん性が明確であるため、長期的な健康影響が生じない安全な閾値としての濃度基準値を設定できない物質を含む。）

物の種類	八時間濃度基準値	短時間濃度基準値
(略)	(略)	(略)
酢酸ブチル（酢酸－セカンダリーブチル及び酢酸ターシャリーブチルに限る。）	20 ppm	150 ppm
(略)	(略)	(略)
トルイジン（パラートルイジン及びメタートルイジンに限る。）	4 mg/m ³	—
(略)	(略)	(略)
ノルマル－ブチル－2，3－エポキシプロピルエーテル※ ²	—	—
(略)	(略)	(略)
弗化スルフリル	1 ppm	—
(略)	(略)	(略)
プロモトリフルオロメタン	1,000 ppm	—
(略)	(略)	(略)
沃土	0.02 ppm	—

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考 (略)			備考 (略)		

別表第 3 - 1

防じんマスクの種類			指定防護係数
取替え式	全面形面体	R S 3 又は R L 3	50
		R S 2 又は R L 2	14
		R S 1 又は R L 1	4
	半面形面体	R S 3 又は R L 3	10
		R S 2 又は R L 2	10
		R S 1 又は R L 1	4
使い捨て式		D S 3 又は D L 3	10
		D S 2 又は D L 2	10
		D S 1 又は D L 1	4
備考 R S 1、R S 2、R S 3、R L 1、R L 2、R L 3、D S 1、D S 2、D S 3、D L 1、D L 2 及び D L 3 は、防じんマスクの規格（昭和 63 年労働省告示第 19 号）第 1 条第 3 項の規定による区分であること。			

別表第 3 - 2

防毒マスクの種類	指定防護係数
全面形面体	50
半面形面体	10

別表第 3 - 3

電動ファン付き呼吸用保護具の種類				指定防護係数
防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具	全面形面体	S 級	P S 3 又は P L 3	1,000
		A 級	P S 2 又は P L 2	90
		A 級又は B 級	P S 1 又は P L 1	19
	半面形面体	S 級	P S 3 又は P L 3	50
		A 級	P S 2 又は P L 2	33
		A 級又は B 級	P S 1 又は P L 1	14
	フード又はフェイスシールドを有するもの	S 級	P S 3 又は P L 3	25
		A 級	P S 3 又は P L 3	20
		S 級又は A 級	P S 2 又は P L 2	20
		S 級、A 級又は B 級	P S 1 又は P L 1	11

防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具	防じん機能を有しないもの	全面形面体		1,000
		半面形面体		50
		フード又はフェイスシールド		25
	防じん機能を有するもの	全面形面体	PS3又はPL3	1,000
			PS2又はPL2	90
			PS1又はPL1	19
		半面形面体	PS3又はPL3	50
			PS2又はPL2	33
			PS1又はPL1	14
		フード又はフェイスシールドを有するもの	PS3又はPL3	25
			PS2又はPL2	20
			PS1又はPL1	11
備考　S級、A級及びB級は、電動ファン付き呼吸用保護具の規格（平成26年厚生労働省告示第455号）第2条第4項の規定による区分（別表第3－5において同じ。）であること。PS1、PS2、PS3、PL1、PL2及びPL3は、同条第5項の規定による区分（別表第3－5において同じ。）であること。				

別表第 3－4

その他の呼吸用保護具の種類			指定防護係数
循環式呼吸器	全面形面体	圧縮酸素形かつ陽圧形	10,000
		圧縮酸素形かつ陰圧形	50
		酸素発生形	50
	半面形面体	圧縮酸素形かつ陽圧形	50
		圧縮酸素形かつ陰圧形	10
		酸素発生形	10
空気呼吸器	全面形面体	プレッシャデマンド形	10,000
		デマンド形	50
	半面形面体	プレッシャデマンド形	50
		デマンド形	10
エアラインマスク	全面形面体	プレッシャデマンド形	1,000
		デマンド形	50
		一定流量形	1,000

	半面形面体	プレッシャデマンド形	50
		デマンド形	10
		一定流量形	50
	フード又はフェイスシールド	一定流量形	25
ホースマスク	全面形面体	電動送風機形	1,000
		手動送風機形又は肺力吸引形	50
	半面形面体	電動送風機形	50
		手動送風機形又は肺力吸引形	10
	フード又はフェイスシールドを有するもの	電動送風機形	25

別表第 3 - 5

呼吸用保護具の種類		指定防護係数
防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって半面形面体を有するもの	S 級かつ P S 3 又は P L 3	300
防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であってフードを有するもの		1,000
防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であってフェイスシールドを有するもの		300
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって防じん機能を有するもののうち、半面形面体を有するもの	P S 3 又は P L 3	300
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であつ		1,000

て防じん機能を有するもの のうち、フードを有するもの		
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって防じん機能を有するもの のうち、フェイスシールドを有するもの		300
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって防じん機能を有しないもののうち、半面形面体を有するもの		300
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって防じん機能を有しないもののうち、フードを有するもの		1,000
防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であって防じん機能を有しないもののうち、フェイスシールドを有するもの		300
フードを有するエアラインマスク	一定流量形	1,000

(参考1) 八時間時間加重平均値の計算方法

例1 : 8時間の濃度が $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ の場合

$$\text{八時間時間加重平均値} = (0.15\text{mg}/\text{m}^3 \times 8\text{h}) / 8\text{h} = 0.15\text{mg}/\text{m}^3$$

例2 : 7時間20分(7.33時間)の濃度が $0.12\text{mg}/\text{m}^3$ で、40分間(0.67時間)の濃度がゼロの場合

$$\begin{aligned} \text{八時間時間加重平均値} &= [(0.12\text{mg}/\text{m}^3 \times 7.33\text{h}) + (0\text{mg}/\text{m}^3 \times 0.67\text{h})] / 8\text{h} \\ &= 0.11\text{mg}/\text{m}^3 \end{aligned}$$

例3 : 2時間の濃度が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ で、2時間の濃度が $0.21\text{mg}/\text{m}^3$ で、4時間の濃度がゼロの場合

$$\begin{aligned} \text{八時間時間加重平均値} &= [(0.1\text{mg}/\text{m}^3 \times 2\text{h}) + (0.21\text{mg}/\text{m}^3 \times 2\text{h}) + (0\text{mg}/\text{m}^3 \times 4\text{h})] / 8\text{h} \\ &= 0.078\text{mg}/\text{m}^3 \end{aligned}$$

(参考2) フローチャート

